

電気通信研究所の新型コロナウイルス感染症対策について

阿部 真帆

東北大学電気通信研究所 安全衛生管理室

1. はじめに

東北大学電気通信研究所安全衛生管理室では、2020年1月より新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策（以下、コロナ対策）を行ってきた。2020年8月現在すべての大学でコロナ対策が行われていることから、その一助として安全衛生管理室が行ってきた対策を紹介する。

2. 電気通信研究所安全衛生管理室について

電気通信研究所（以下、通研）は教職員165名、学生222名で構成されており、そのほかに他部局に所属している教職員、学生の居室、実験室がある。通研所属、他部局所属を合わせて28の研究室あり、電気系（主に実験作業）と情報系（主にPC作業）のふたつに研究内容が分かれている。

通研安全衛生管理室（以下、安管室）は所属に関わらず通研内で働く教職員や学生の安全と健康を維持することを目的とした組織であり、研究室へ安全衛生管理のサポートを主な業務としている。今回報告するコロナ対策では通研新型コロナウイルス対策本部の指示のもと、事務局と協力して対策を行っている。

3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

新型コロナウイルス感染症は世界中で感染が拡大している。2020年8月現在も治療法やワクチンが確立されておらず、その拡大防止のために各々がマスク、手洗いといった一般的な感染症予防対策を行うことが推奨されている。

東北大学では、大学の定めた行動指針（BCP）に基づき各部局が策定した新型コロナウイルス感染症防止対策管理体制の下で対策が行われている。そのため対応は、基本的な感染防止対策に加え、各部局の事情に合わせたきめ細かいコロナ対策が実施されている。

通研安管室が行っている2020年の主なコロナ対応については下の表1の通りである。1-3月はアルコール消毒液やマスクの配布等が対策の中心であったが、4月以降はそれに加えて、通研内、学内の新型コロナウイルス関連の情報を掲載する新型コロナウイルス関連情報専用Webサイトを作成し、教職員、学生への丁寧な情報提供を行っている。サイトは常に最新の情報を掲載している。

表1 主な対策とその実施時期

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
アルコール消毒液の配布	—							
マスクの配布			●			●		
専用サイトでの情報提供				—				
各研究室の対策確認					—			

— 継続して実施

● 不定期に実施

参考文献

- [1] 東北大学新型コロナウイルスBCP対応ガイド <https://www.bureau.tohoku.ac.jp/covid19BCP/index.html>
 [2] RIEC 新型コロナウイルス関連情報サイト <https://sites.google.com/view/riec-covid-19>